

会 長 〒 560-0085 豊中市上新田4-16-1-33 合原 一夫 06-6833-9227
 事務局 〒 577-0054 東大阪市高井田元町1-14-2 岡本 至弘 06-6788-2796
 編集室 〒 586-0039 河内長野市楠ヶ丘11-18 中川 良三 0721-65-0348
 HomePage担当 〒 577-0054 大阪市住之江区南港中3-3-31-520 坪井 仁志 06-6613-2836

令和 7 年 11 月 (2025 年) No.719

関西万博が無事終了しました。

各自の映像を一本化して記録に残せないか

会長 合原一夫

関西万博も無事終了致しました。後半はパビリオンに入るにも予約が取れなかった、という方が多くいらっしゃいました。盛会で終わったことは良かったと思います。55 年前の Expo'70 の時は、私は会場を 10 回以上、特に初日と最終日に撮影ポイントを置いて通ったものですが、今回は次世代向けの開催だとかで、スマホが扱えないと入場すらままならないとあって、最初からあきらめて行かず仕舞いで終わってしまいました。

唯、例会では多くの方がそれぞれの視点で関西万博の映像を披露されていたので、雰囲気と建物などの様子はよく理解できました。広い会場を一人で撮影するには無理があります。どなたか、各人の撮った映像を借りて、新しく一本化した作品にして頂けたら、素晴らしい作品になると思います。OMC の公式記録作品ともなるでしょう。来年の OMC フェスティバルの目玉作品として公開しては如何でしょうか。

■ OMC 例会で発表された大阪関西万博の映像作品リスト

- 4 月例会；①大阪万博テストラン二日目 植村朝一 7 分 22 秒 ②ブルーインパルス 坪井仁志 3 分 08 秒 ③OSAKA 万博 2025 パビリオン巡り 中川良三 19 分 02 秒
 ④大阪万博、ガンダムパビリオン 道下敏行 11 分 26 秒
 5 月例会；⑤明日への飛躍大阪万博 山本正夢 10 分 35 秒
 6 月例会；⑥行ってきました大阪・関西万博 坪井仁志 4 分 10 秒
 8 月例会；⑦大阪関西万博 道下敏行 4 分 56 秒
 10 月例会；⑧Expo2025 生田幸靖 24 分



11 月例会のお知らせ

- 第 4 土曜日 22 日 13 時より。担当者の方は早めにお越しください
 2 次会も含め楽しいひと時を過ごしましょう。

大阪アマチュア映像祭 盛会にて無事終了

第29回大阪アマチュア映像祭は、去る11月2日（日）大阪市立中央図書館5階講堂で13時開場、13時30分開会にて開催。開場当初から観客が大勢いらっしゃって下さり、久しぶりに見た大入りに感謝いたしました。140名を越える来場者で、図書館側の方も、大入りで良かったですねと喜んでくださいました。

全国的に見てもアマチュア映像発表会の減少化が見られる中、大阪では年二回、OMCと大阪アマ連が、毎年欠かさず発表会を継続して開催していることは貴重な存在だと言えます。もっとも大阪アマ連と言ってもOMCを含めて4つのクラブに減っており、高齢化が進み若い人が入って来ないという悩みを抱えているのが現状です。OMCが中心となって引っ張っていく必要があります。OMCが傾けば大阪アマチュア連盟もつぶれてしまいます。責任の重さを痛感致します。



全国コンテストの意義と応募へのお薦め

会長 合原一夫

この程全国ビデオ映像コンテスト2025の主催事業を日本アマチュア映像作家連盟が実施され、来る11月26日東京都亀戸文化センターホールで授賞式並びに発表映写会が行われます。関西から道下敏行さん（OMC）が、グランプリに次ぐ優秀賞を、谷弘子さん（寝屋川市）と黒田葉子さん（堺市）の両氏が入賞、松山健さん（河内長野市）と西岡稔さん（大阪市・中津ビデオクラブ会長）の両氏が入選と計5名の方が受賞されました。おめでとうございます。

私も8ミリフィルム時代、作品を制作するのに関心を持ったのは、東京八重洲口付近近くにあったブリジストンホールで、当時アマチュア映像作家で玄光社の小型映画という雑誌で有名人だった近藤幹太さんの個人映写会を見に行ったのがきっかけでした。そこで作品の創作の面白さに嵌り込み、まずは玄光社の全国コンテストに応募、いきなり入賞したのが「ツリーの最後」。その後、富士コンや東海テレビコン等次々と受賞したのが病みつきになったものです。おかげで全国的に知人が増えました。全国コンを目指すというのは、自分の作品を外部の方に評価してもらえ、客観的に至らなかった点を指摘して頂くという事で、レベルアップにつながります。故・中村幸子さんが毎年のように丹波篠山の全国コンに応募されていたのは、落選しても講評があったので応募していると仰っていました。全国コンの全応募者の作品に講評を期待するのは、手間のかかる仕事だけに無理ですが、どうすれば受賞するレベルの作品になるか、同好の友と語りあいや例会での評価なりで自然と解って来るものです。レベルアップ手段として全国コンの応募に期待しています。

10月例会レポート

さすがの猛暑続きも、10月例会日25日頃は、すっかり気温も下がり、秋を飛ばして初冬のような気候となりました。今月は中川良三さんがけがで入院されたとかで、上映担当の世話役さんも、準備に戸惑っていた。技術的に精通して居られる中川さんの存在は大きい。一日も早く全快されますよう祈念しています。今月は15名の出席と10本の作品が出品。

■ 運営担当：司会 合原、書記 合原、映写 高田、坪井、記録 江村、
受付・照明 森下、生田、大久保、YouThube 高瀬

■ 出席者：生田、岩井、植村、江村、岡本、上総、合原、大久保、高田、坪井、
中川晃、高瀬、森下、宮崎、山本の15名

上映作品(今月の書記は合原氏)

1、鹿の角きり 中川 晃 5分13秒 USB

(作者コメント) 毎年開かれる鹿の角きりの様子を撮った映像です。

(書記コメント) 私も20年位前に角切の行事を撮影したことがありましたが、あのころと変わっていないことに伝統の重みを実感。



2、四季・美瑛 合原一夫 9分48秒 BD

(作者コメント) 写真のツアーで北海道美瑛を訪れたのは秋。その自然の美しさに魅了され、遂に冬、春、夏、秋と四季を通じて訪れることに。美瑛は四季それぞれに絵になる風景がそこにあった。2002年制作。



3、北山崎サップ船冒険クルーズ 高田幸夫 7分10秒 BD

(作者コメント) 地元漁師が操る小型船に乗って三陸岩手の断崖絶壁を海から体感しました。スリル満点のクルーズでした。

(書記コメント) 岩手県三陸海岸の断崖絶壁の様子はまさに圧巻。素敵な旅でしたね。ところどころ静止画が入っているため少し違和感があります。全体的には良く出来た観光作品でした。



4、大阪・関西万博大屋根リング 高瀬辰雄 8分30秒 BD

(作者コメント) 9月下旬に万博に行きました。入場制限が掛かっている頃、パビリオンにはほとんど入れず、当てもなく写して歩き、帰って映像を見ると、大屋根リングを撮ったものが多く、これをつないで見ました。



(書記コメント) リングを中心に精力的に撮影されています。大屋根リングは関西万博の一つを表現したものといわれていますので、写真やポスターでもよいから全体像のリングが欲しいところ。リングのテーマについてナレーション等、又レガシーとして一部残すとの計画について作者なりの考えを述べたらとも思います。

5、堺 歴史巡り 山本正夢 9分40秒 BD

(作者コメント) 仁徳天皇陵見学、気球営業第一日目に行ってきた



した。ちょうど堺は秋祭りの真最中、併せて編集しました。

(書記コメント) 堺は歴史的に話題のあるものが多数あることが判ります。この中から数点に絞って深入りした作品にするのもよいのではと考えます。

6、Expo2025 生田幸靖 24分00秒 BD

(作者コメント) 多種多様なデザインのパビリオン50棟を繋いでみました。



(書記コメント) 24分という長編に拘わらず、長さを感じさせなかったのは、万博という華やかさと多様性のせいでしょうか。丁寧な絵づくりでたっぷりと楽しませてもらいました。万博テーマソングも良かったです。

7、高野山森林鉄道 江村一郎 8分00秒 BD

(作者コメント) 高野山森林鉄道跡の旧トロッコ道を歩いてきました。



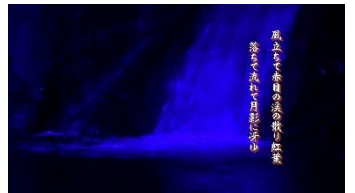
明治時代から戦後しばらく迄、高野山から木材を搬出する為の鉄道でした。今では九度山駅からは山岳路線となりその線に沿って森林鉄道跡は上古沢駅までハイキングコースが整備されています。しかし上古沢駅からの廃線跡は通行不可となっていました。強行突破するも危なかった。

(書記コメント) ほとんど知られていない廃線跡を、危険を顧みずよくぞ撮影してくれました。貴重な記録映画になると思います。唯、現在走っている電車は必要かな？

8、散り紅葉 岡本至弘 8分00秒 BD

(作者コメント) 2020年11月15日撮影作品を一部改作しました。

(書記コメント) 赤目溪谷・秋の情景と夜の光イベントの雰囲気がよく伝わってきます。滝と光のイベントの印象が強いので、題名を変えたらどうでしょう。例えば「晩秋の赤目溪谷」の様な、又、短歌が頻繁に出てきますが作品名も添えたら？「～短歌紀行」で良いかも・・・。



9、宮絵師の祈り 上総秀隆 6分55秒 BD

(作者コメント) 神社仏閣のふすま絵を描いたり、神具仏具に彩色を施すことを業とする「宮絵師」の仕事ぶりを追って、絵師の思いを探る。



(書記コメント) 取材対象に著名な方に出会われた事にまず敬意。できればトップはいきなりインタビューではなく、ご本人の紹介から始められたら如何でしょうか、後の方で実際に絵を描いておられるところから始めて、実は数々の有名な襖絵等を手掛けられた方です、といった展開は如何でしょうか？

10、ひがん花の里 高瀬辰雄 5分20秒 BD

(作者コメント) 亀岡市の穴太寺(あなおい)近く、田のあぜ道はひがん花で埋め尽くされ「ひがん花の里」と呼ばれています。稲刈りの真最中の里の風景を纏めてみました。



(書記コメント) のどかな田園風景にしばらくうっとりとしていました。